

トポロジー検出アプリケーション 「Network Topology Monitor」

取扱説明書

2015 年 4 月 3 日 (第 1.0 版)

大電株式会社
ネットワーク機器部

目 次

1. はじめに	3
2. 特徴	3
3. システム要件	3
4. インストール	4
4. 1. .NET Framework 4.0 のインストール	4
4. 2. .NET Framework 4.0 のセットアップ	4
4. 3. アプリケーションのインストール	6
4. 4. アプリケーションのセットアップ	6
5. アンインストール	8
6. 起動	9
6. 1. 起動方法	9
6. 2. 起動後	10
6. 3. ソケット生成エラー	11
7. ファイル管理	12
7. 1. ファイルデータの新規作成	12
7. 1. 1. ネットワーク情報の初期化	12
7. 1. 2. アプリケーション設定の初期化	13
7. 2. ファイルデータの読み込み	14
7. 2. 1. ネットワーク情報の読み込み	14
7. 2. 2. アプリケーション設定の読み込み	15
7. 3. ファイルデータの保存	16
7. 3. 1. ネットワーク情報の保存	16
7. 3. 2. アプリケーション設定の保存	17
7. 3. 3. ログ情報の保存	18
7. 3. 4. ネットワーク図の保存	19
8. 設定	20
8. 1. ポーリング監視設定	20
8. 1. 1. ポーリング監視設定画面	20
8. 2. ログ表示設定	21
8. 2. 1. ログ表示設定画面	21
8. 3. Eメール送信設定	22
8. 3. 1. Eメール送信設定画面	22
8. 3. 2. Eメール送信設定例 (Yahoo!メール)	24
8. 4. Syslog 送信設定	25
8. 4. 1. Syslog 送信設定画面	25
9. 機能	26
9. 1. 自動検索	26
9. 1. 1. 自動検索画面	26
9. 2. 新規ホスト作成	27
9. 2. 1. 新規ホスト作成画面	27
9. 3. ネットワーク図の並び替え	28
9. 3. 1. ネットワーク図の並び替えの実行	28
9. 4. ホスト情報の更新	30
9. 4. 1. ホスト情報の更新の実行	30

10.	ログ管理	32
10.1.	ログ情報の初期化	32
11.	メイン画面	33
11.1.	ネットワーク図	33
11.1.1.	ネットワーク図の縮尺変更	33
11.1.2.	表示アイコン移動	34
11.1.3.	トポロジ詳細表示	34
11.1.4.	ホスト詳細管理	35
11.2.	ホスト／状態一覧ツリー	37
11.2.1.	ホスト一覧ツリーの表示	37
11.2.2.	状態一覧ツリーの表示	38
11.3.	ログ情報表示	39
11.3.1.	ログ情報表示の詳細	39
12.	問い合わせ先	41

1. はじめに

本書は、トポロジー検出アプリケーション「NetworkTopologyMonitor」(以下、「アプリケーション」といいます)について記述します。

アプリケーションのバージョンは 1.0.0.x(x は軽微な変更毎に随時更新)に対応しています。

2. 特徴

Microsoft 社の提供する「Microsoft .NET Framework」上で動作します。これにより、「Microsoft .NET Framework」が存在する環境であれば、PC の機種や OS の違いなどに拠らず、同じように動作させることが可能となります。

SNMP や ICMP(Ping)を用いたポーリング監視、および、SNMPトラップの受信によって、ネットワーク機器を監視します。

アプリケーションを使用することで、ネットワークトポロジー情報の抽出、ネットワーク機器の状態の一覧表示、インシデント発生管理などを行うことができます。

※ ネットワークトポロジー情報は、各ネットワーク機器が送受信する LLDP 情報を SNMP 経由で収集しています。正確なネットワークトポロジー情報を抽出するためには、各ネットワーク機器が SNMP、および、LLDP をサポートしている必要があります。機能の有効／無効設定などは、各ネットワーク機器の取扱説明書などをご確認ください。

3. システム要件

アプリケーションのシステム要件は、以下の通りです。(記載した環境でのすべての動作を保証するものではありません。)

・対応 OS (32bit / 64bit)

▪Windows Vista

▪Windows 7

▪Windows 8

▪Windows 8.1

・その他

▪.NET Framework 4.0 以上

4. インストール

4.1. .NET Framework 4.0 のインストール

- ※ アプリケーションの動作には .NET Framework 4.0 以上が必要となります。お使いの PC に .NET Framework 4.0 以上がインストールされている場合には、本項の操作は必要ありません。また、お使いの PC にインストールされている .NET Framework バージョンの確認方法は、Microsoft 社のウェブサイトをご参照ください。
- ※ 本項の操作は、製品に添付している CD-ROM を使用した場合について説明しています。アプリケーションを弊社ウェブサイトより、ダウンロードされた場合には .NET Framework の再頒布パッケージを含んでいませんので、Microsoft 社のウェブサイトより .NET Framework 4.0 以上の再頒布パッケージなどをダウンロードしてご利用ください。

「dotNet framework 再頒布パッケージ」フォルダー→「dotNet Framework 4.0」フォルダに進み、「dotNetFx40_Full_x86_x64.exe」ファイルを実行すると、.NET Framework 4.0 のセットアップ画面が表示されます。

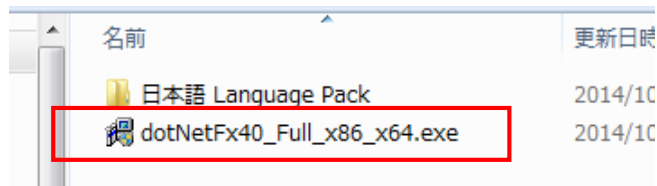


図 dotNetFx40_Full_x86_x64.exe ファイルの実行

4.2. .NET Framework 4.0 のセットアップ

- ① .NET Framework 4.0 のセットアップが起動したら、内容をご確認の上、[同意する]にチェックを入れ、[インストール]をクリックしてください。



図 .NET Framework 4.0 セットアップ画面

以下の画面が表示されるとインストールは完了です。



図 .NET Framework 4.0 インストール完了画面

また、必須ではありませんが、必要に応じて「日本語 Language Pack」フォルダ内にある、「dotNetFx40LP_Full_x86_x64ja.exe」ファイルもあわせてインストールしてください。

※ 「dotNetFx40LP_Full_x86_x64ja.exe」ファイルには、英語以外の言語に翻訳されたテキスト（エラー メッセージなど）が含まれています。Language Pack をインストールしない場合、これらのエラー メッセージは既定では英語で表示されます。

4.3. アプリケーションのインストール

「NetworkTopologyMonitor Setup」フォルダ内の「setup.exe」ファイルを実行すると、本アプリケーションのセットアップ画面が表示されます。

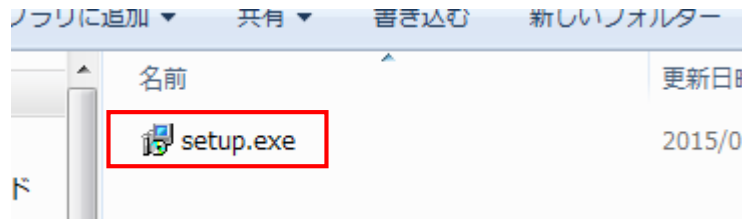


図 setup.exe ファイルの実行

4.4. アプリケーションのセットアップ

- ② アプリケーションのインストーラが起動しましたら、内容をご確認の上、[次へ]をクリックしてください。



図 インストーラ起動画面

- ③ アプリケーションのソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。

内容をご確認の上、同意いただける場合は[同意する]を選択し、[次へ]をクリックしてください。(同意いただけない場合、本アプリケーションはインストール・利用いただけません。)

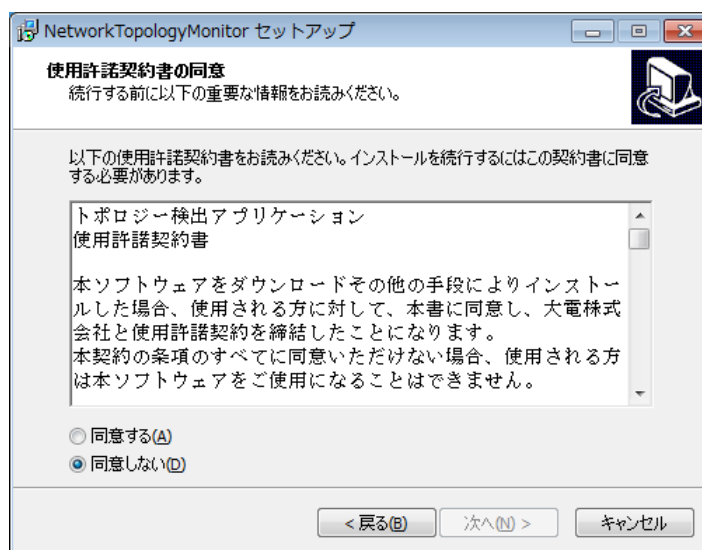


図 ソフトウェア使用許諾契約画面

- ④ インストール先を指定し、[次へ]をクリックします。

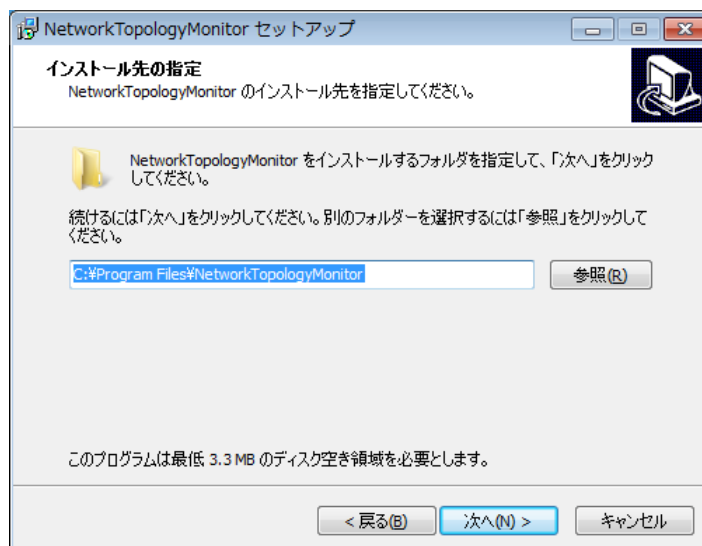


図 インストール先指定画面

- ⑤ スタートメニューに作成するショートカット名を指定し、[次へ]をクリックします。

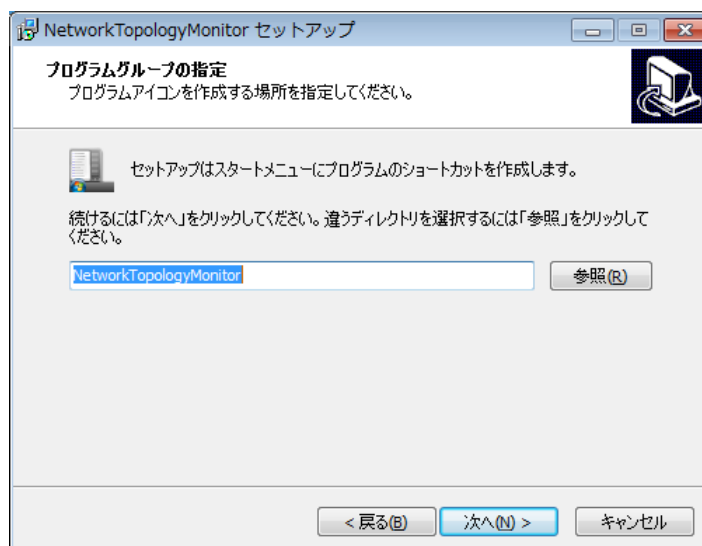


図 ショートカット名指定画面

- ⑥ [インストール]をクリックすると、インストールを実行します。

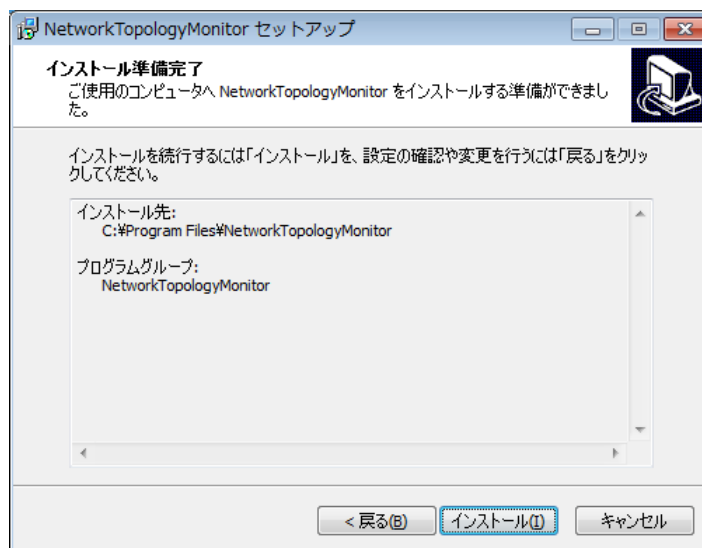


図 インストール開始画面

- ⑦ 下記の画面が表示されると、インストール完了です。[完了]をクリックすると、インストーラが終了し、アプリケーションの使用が可能となります。(再起動を行わずに、アプリケーションをご使用された場合、PC の環境によっては、エラーが発生する場合があります。)

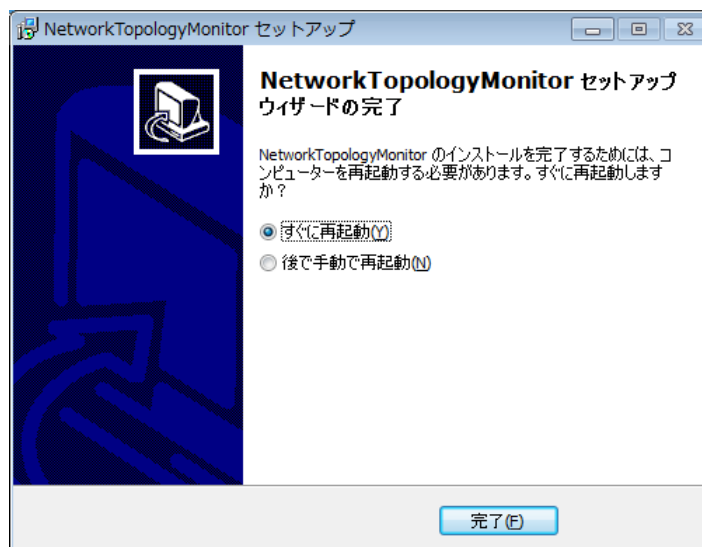


図 インストール完了画面

5. アンインストール

アプリケーションのアンインストールは、コントロールパネルから「NetworkTopologyMonitor」の削除を行ってください。

6. 起動

本項は、アプリケーションの起動について、記述しています。

6.1. 起動方法

アプリケーションの起動は、デスクトップ画面のショートカット、もしくは、スタートメニューより選択し行ってください。

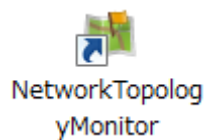


図 ショートカットアイコン

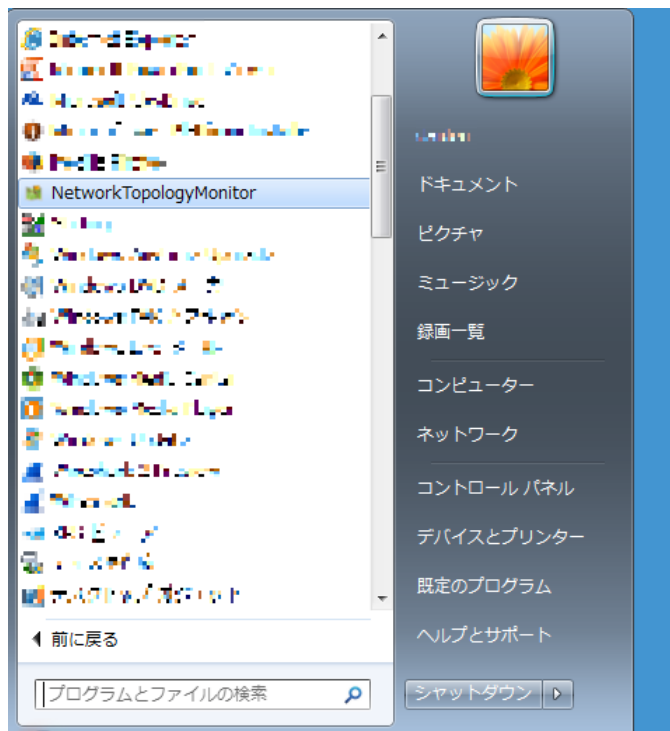


図 スタートメニュー画面

6.2. 起動後

アプリケーションを起動すると、メイン画面を表示します。

メイン画面は、以下のような構成を持ちます。

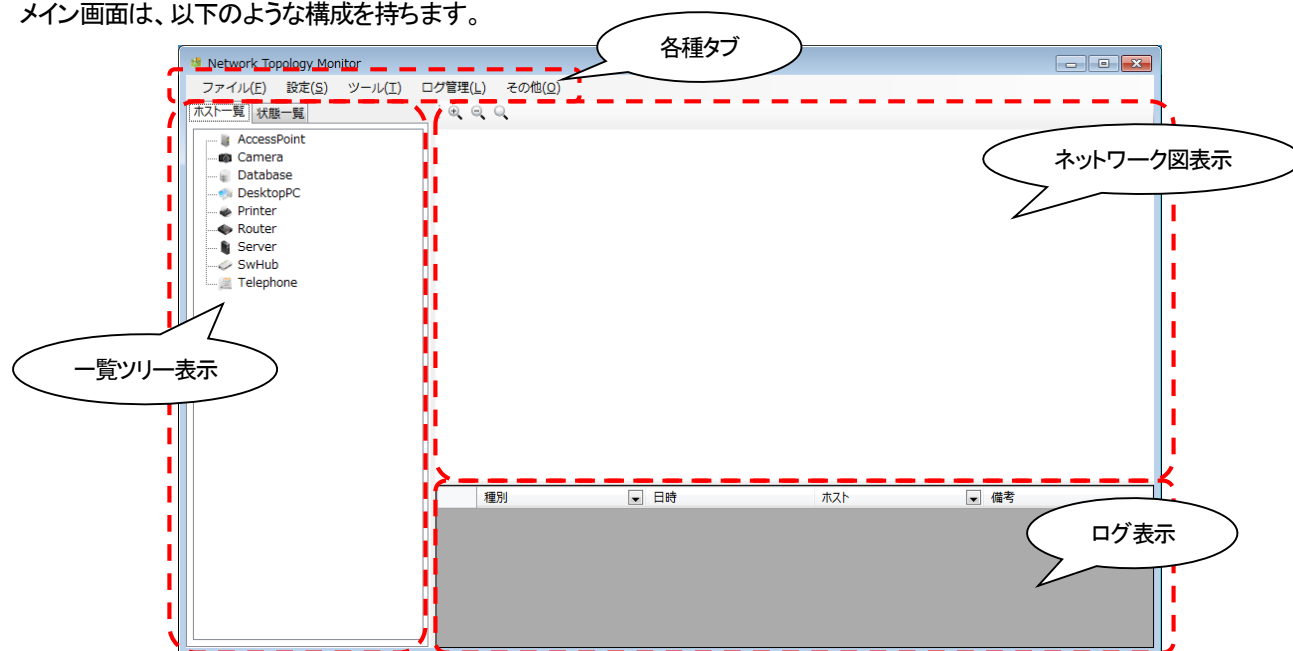


図 メイン画面

以下の内容が表示される場合には、お使いの PC に .NET Framework 4.0 以上がインストールされていないので、『4.1. .NET Framework 4.0 のインストール』をご参照ください。

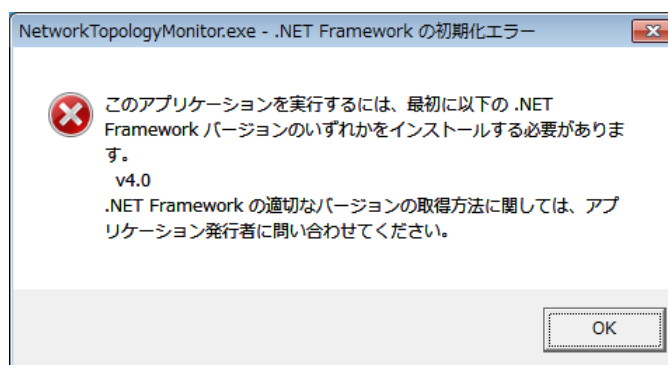


図 .NET Framework 初期化エラー

6.3. ソケット生成エラー

以下の内容が表示される場合には、本アプリケーション以外で、お使いの PC のアプリケーション、または、サービスにより、SNMPトラップ受信用ソケット(UDP:162)が、すでに取得されていることを示しています。

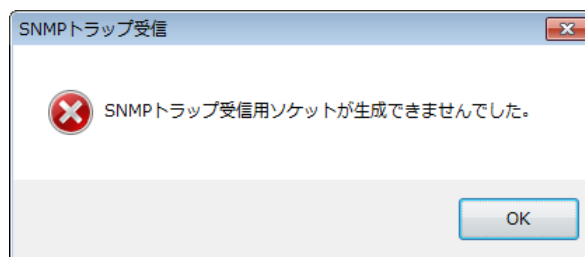


図 ソケット生成エラー

SNMPトラップ受信用ソケットを取得しているアプリケーション、または、サービスをご確認のうえ、設定を変更した後、本アプリケーションを再起動してください。

- ※ このエラーを無視してアプリケーションをご使用になられた場合、アプリケーションの SNMPトラップ受信機能は動作しません。その他の機能は、正常に動作します。

7. ファイル管理

本項は、ファイル管理について、記述しています。

7.1. ファイルデータの新規作成

7.1.1. ネットワーク情報の初期化

アプリケーションが保持しているネットワーク情報を初期化するには、メイン画面の[ファイル]メニューから、[新規作成]→[ネットワーク情報の初期化]タブを選択してください。

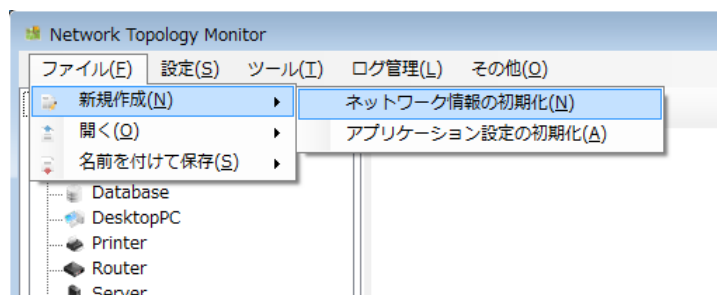


図 [ネットワーク情報の初期化]タブ

ネットワーク情報の初期化の実行前に、再度、確認を行う画面を表示します。[OK]ボタンをクリックすることで、ネットワーク情報の初期化を実行します。

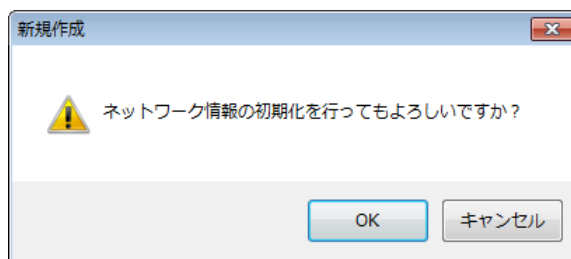


図 ネットワーク情報の初期化確認画面

7.1.2. アプリケーション設定の初期化

アプリケーションが保持している各種設定を初期化する場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[新規作成]→[アプリケーション設定の初期化]タブを選択してください。

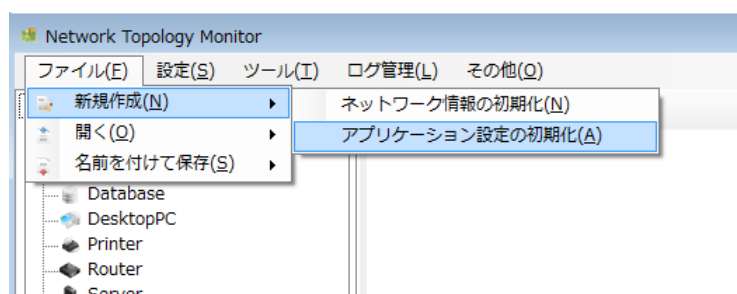


図 [アプリケーション設定の初期化]タブ

アプリケーション設定の初期化の実行前に、再度、確認を行う画面を表示します。[OK]ボタンをクリックすることで、各種設定の初期化を実行します。

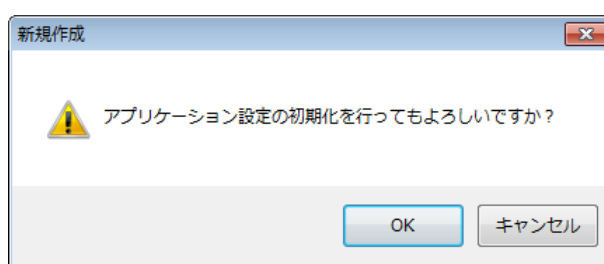


図 アプリケーション設定の初期化確認画面

7.2. ファイルデータの読み込み

7.2.1. ネットワーク情報の読み込み

PC にファイルとして保存しているネットワーク情報を、アプリケーションに読み込む場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[開く]→[ネットワーク情報を開く]タブを選択してください。

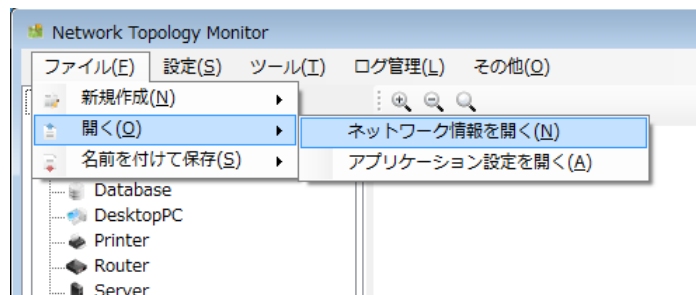


図 [ネットワーク情報を開く]タブ

読み込むネットワーク情報ファイルを選択する画面を表示します。ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすることで、ネットワーク情報ファイルの読み込みを実行します。

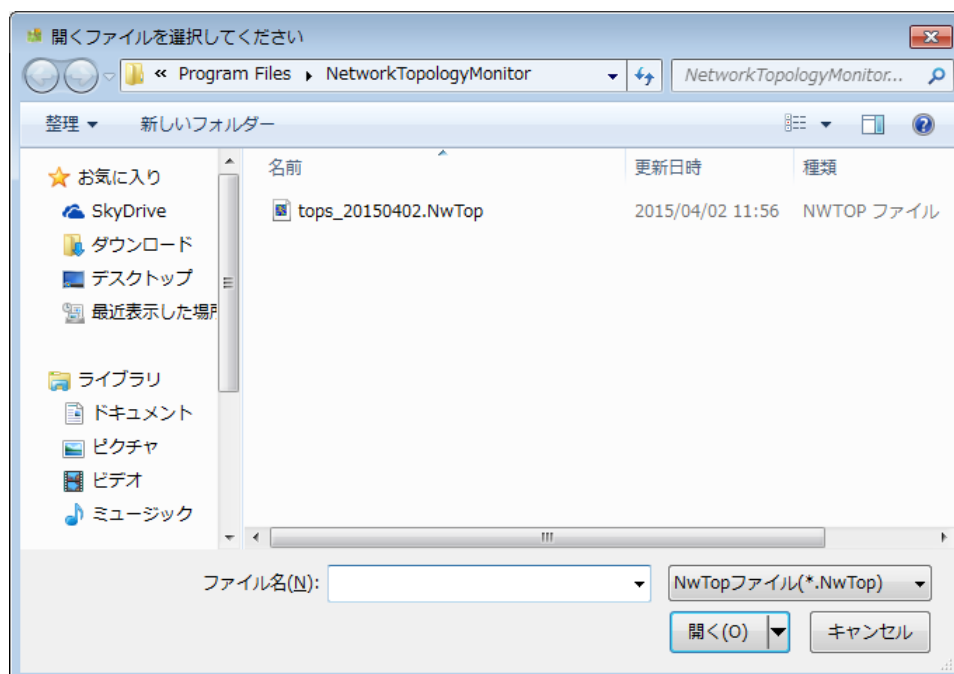


図 ネットワーク情報ファイル開く画面

7.2.2. アプリケーション設定の読み込み

PC にファイルとして保存しているアプリケーション設定を、アプリケーションに読み込む場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[開く]→[ネットワーク情報を開く]タブを選択してください。

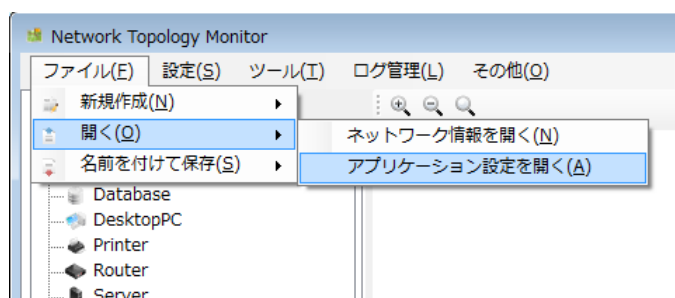


図 [ネットワーク情報を開く]タブ

読み込むアプリケーション設定ファイルを選択する画面を表示します。ファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックすることで、アプリケーション設定ファイルの読み込みを実行します。

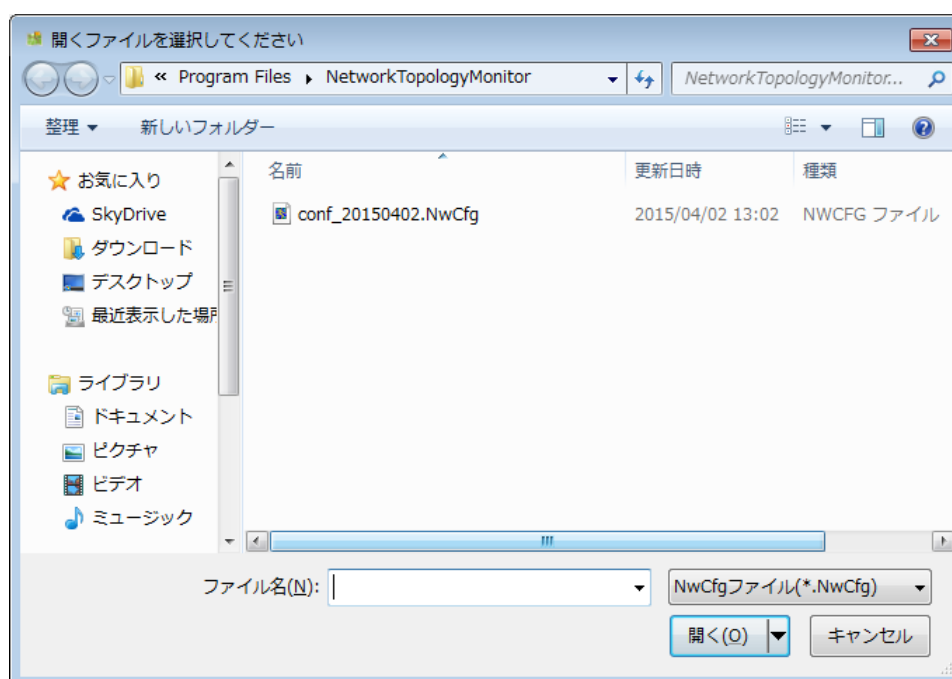


図 アプリケーション設定ファイル開く画面

7.3. ファイルデータの保存

7.3.1. ネットワーク情報の保存

アプリケーションが保持しているネットワーク情報を、PC にファイルとして保存する場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]→[ネットワーク情報を保存]タブを選択してください。



図 [ネットワーク情報の初期化]タブ

保存するネットワーク情報ファイルを指定する画面を表示します。ファイルを指定し、[保存]ボタンをクリックすることで、ネットワーク情報ファイルの保存を実行します。

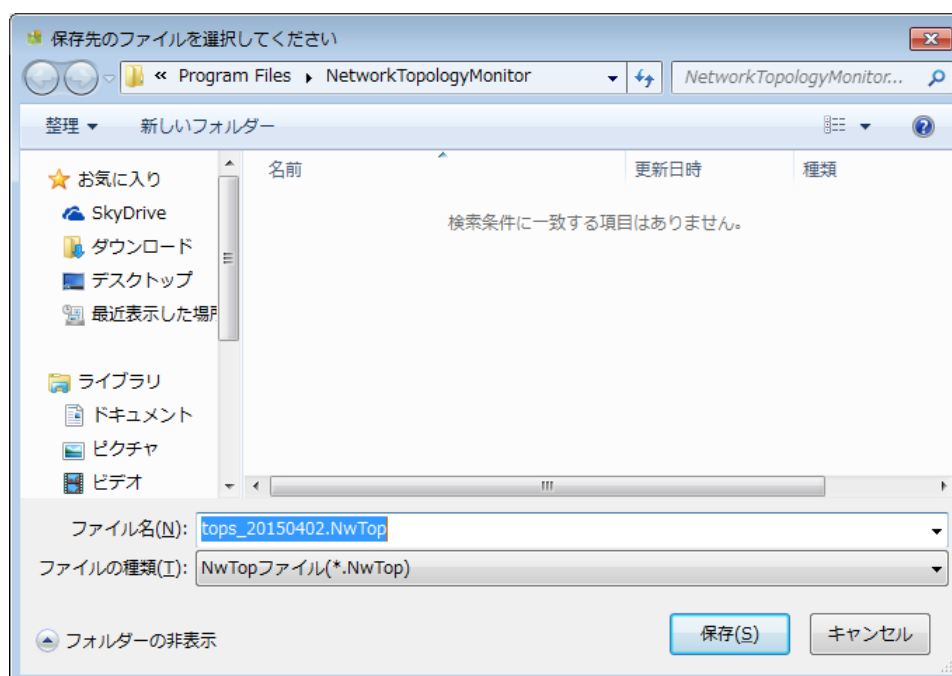


図 ネットワーク情報ファイル保存画面

7.3.2. アプリケーション設定の保存

アプリケーションが保持している各種設定を、PC にファイルとして保存する場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]→[アプリケーション設定を保存]タブを選択してください。



図 [アプリケーション設定を保存]タブ

保存するアプリケーション設定ファイルを指定する画面を表示します。ファイルを指定し、[保存]ボタンをクリックすることで、アプリケーション設定ファイルの保存を実行します。

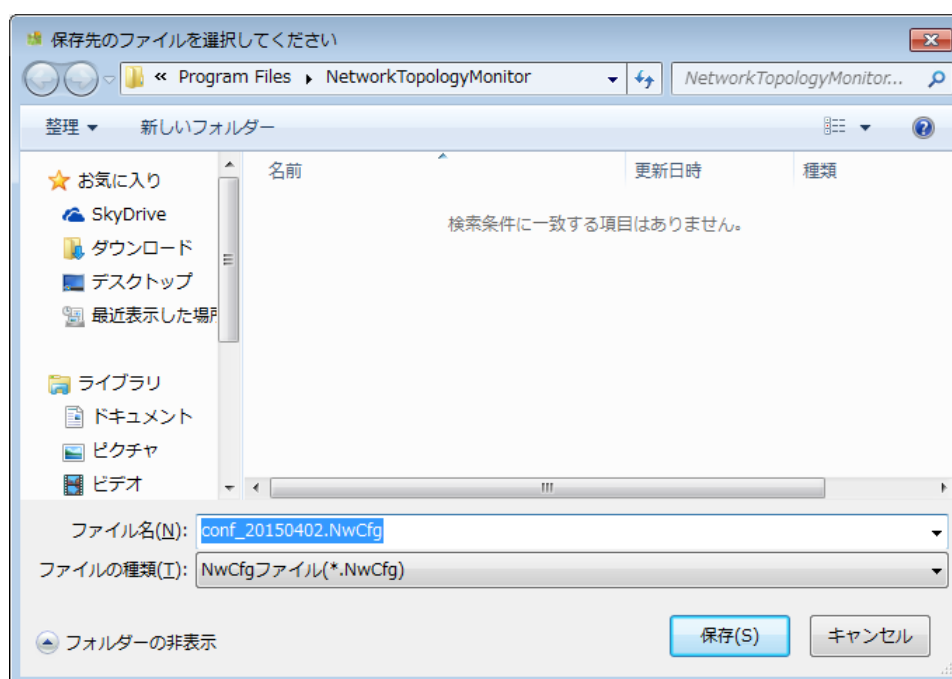


図 アプリケーション設定ファイル保存画面

7.3.3. ログ情報の保存

アプリケーションが保持しているログ情報を、PC にファイルとして保存する場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]→[ログ情報を保存]タブを選択してください。



図 [ログ情報を保存]タブ

保存するログ情報ファイルを指定する画面を表示します。ファイルを指定し、[保存]ボタンをクリックすることで、ログ情報ファイルの保存を実行します。

※ 保存したログ情報ファイルは、アプリケーションで読み込むことはできません。ログ情報は、HTML にて記述していますので、Web ブラウザでご確認いただけます。

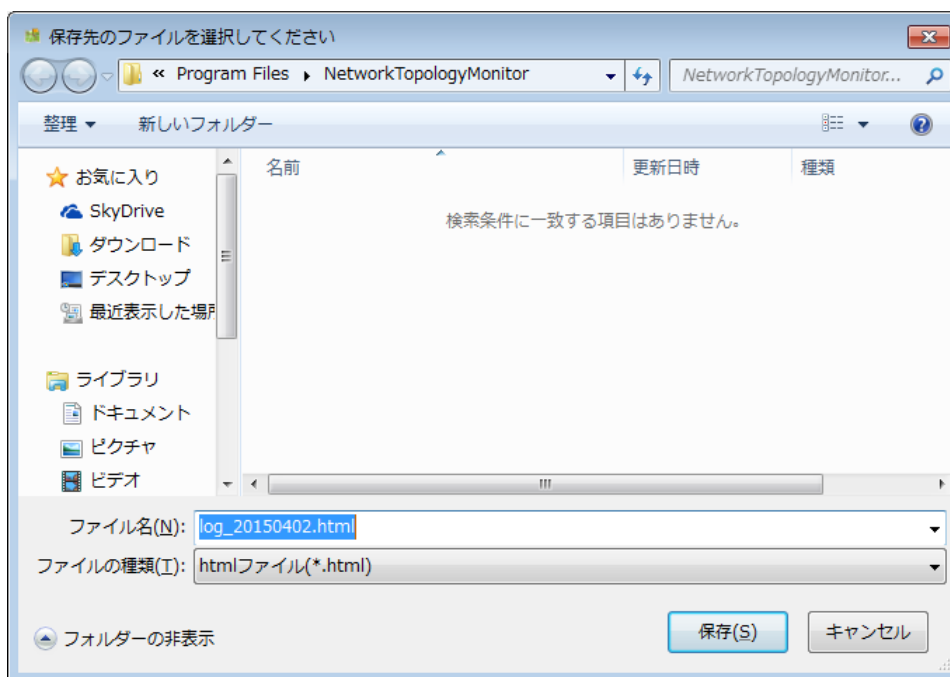


図 ログ情報ファイル保存画面

7.3.4. ネットワーク図の保存

アプリケーションが保持しているネットワーク図を、PC にファイルとして保存する場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[名前を付けて保存]→[ネットワーク図を保存]タブを選択してください。



図 [ネットワーク図を保存]タブ

保存するネットワーク図ファイルを指定する画面を表示します。ファイルを指定し、[保存]ボタンをクリックすることで、ネットワーク図ファイルの保存を実行します。

※ 保存したネットワーク図ファイルは、アプリケーションで読み込むことはできません。ネットワーク図は、画像ファイルとして保存していますので、Windows 標準添付の「ペイント」などのグラフィックソフトウェアでご確認いただけます。

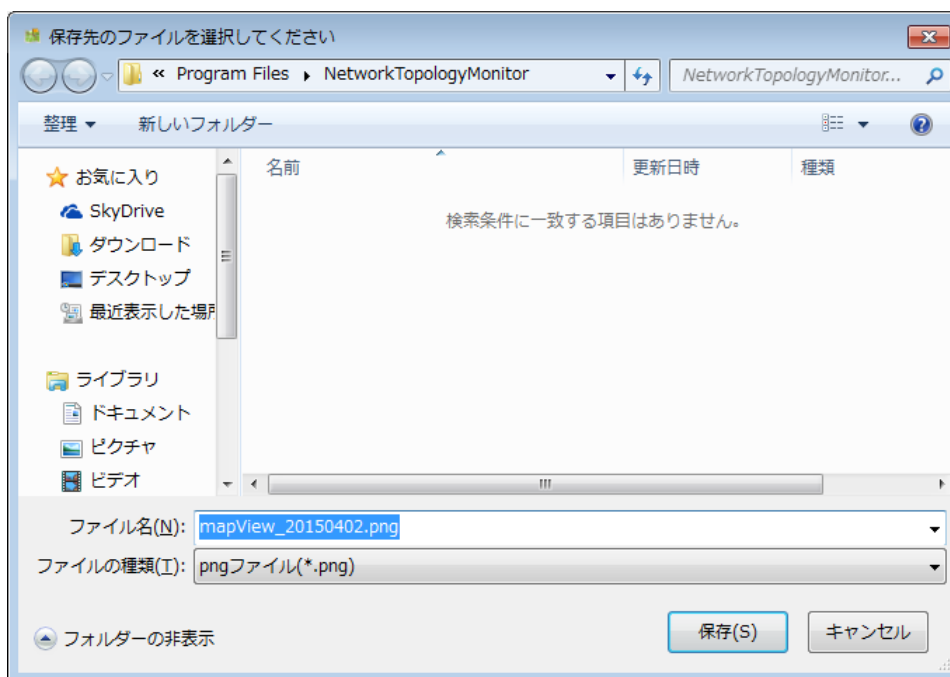


図 ネットワーク図ファイル保存画面

8. 設定

本項は、アプリケーションの各設定について、記述しています。

8.1. ポーリング監視設定

ポーリング監視設定の表示／変更を行う場合には、メイン画面の[設定]メニューから、[ポーリング監視設定]タブを選択してください。

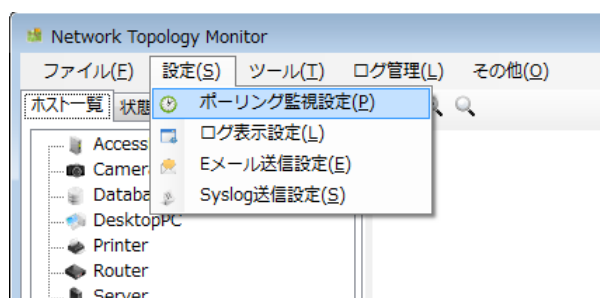


図 [ポーリング監視設定]タブ

8.1.1. ポーリング監視設定画面

ポーリング監視設定画面は、以下のような構成を持ちます。

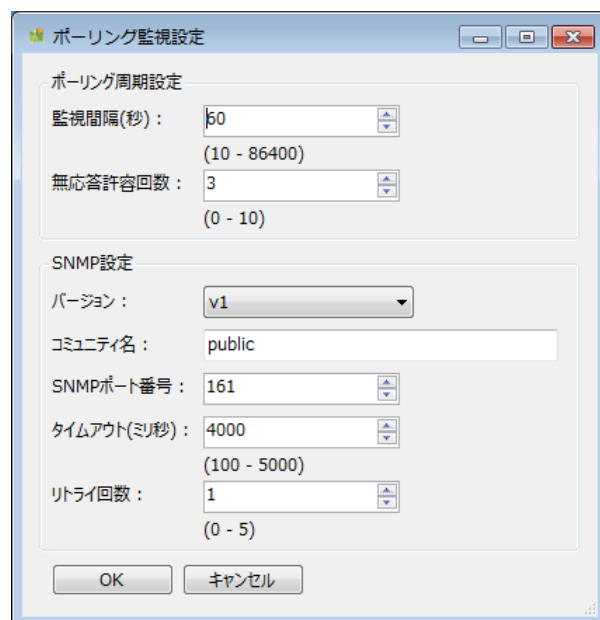


図 ポーリング監視設定画面

各コントロールの詳細は以下の通りです。

適用範囲	コントロール表示	詳細
SNMP、ICMP(Ping) 共通	監視間隔	ポーリング監視の周期を設定します。(単位: 秒)
	無応答許容回数	応答がない場合に、インシデント発生と判断するまでの回数を設定します。
SNMPのみ	バージョン	SNMPバージョンを設定します。
	コミュニティ名	SNMPコミュニティ名を設定します。
	SNMPポート番号	SNMPポート番号を設定します。
	タイムアウト	SNMPリクエストの応答待ち時間を設定します。(単位: ミリ秒)
	リトライ回数	SNMPリクエストへの応答がない場合に、SNMPパケットを再送する回数を設定します。

設定の変更を行う場合は、各コントロールの値を変更後、[OK]ボタンをクリックしてください。[キャンセル]ボタンをクリックした場合には、各コントロールの値が変更されていても適用されません。

8.2. ログ表示設定

ログ表示設定の表示／変更を行う場合には、メイン画面の[設定]メニューから、[ログ表示設定]タブを選択してください。

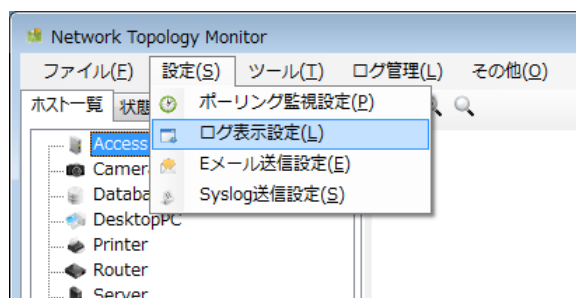


図 [ログ表示設定]タブ

8.2.1. ログ表示設定画面

ログ表示設定画面は、以下のような構成を持ちます。

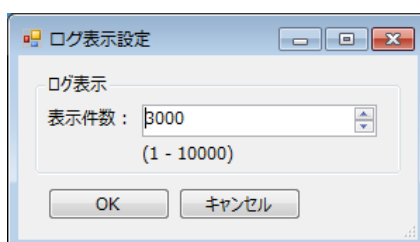


図 ログ表示設定画面

各コントロールの詳細は以下の通りです。

コントロール表示	詳細
表示件数	メイン画面に表示するログ情報の上限数を設定します。

設定の変更を行う場合は、各コントロールの値を変更後、[OK]ボタンをクリックしてください。[キャンセル]ボタンをクリックした場合には、各コントロールの値が変更されていても適用されません。

8.3. Eメール送信設定

Eメール送信設定の表示／変更を行う場合には、メイン画面の[設定]メニューから、[Eメール送信設定]タブを選択してください。

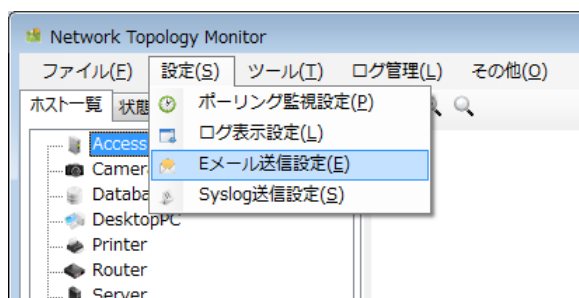


図 [Eメール送信設定]タブ

8.3.1. Eメール送信設定画面

Eメール送信設定画面は、以下のような構成を持ちます。

A screenshot of the 'Eメール送信設定' (Email Sending Settings) dialog box. It contains several sections: 'Eメール送信設定' with a checkbox 'Eメール送信を行う'; 'SMTPサーバ設定' with fields for 'サーバアドレス', 'ポート番号' (set to 25), and a checkbox 'SSL/TLSを使用する'; 'Auth認証' with a checkbox 'Auth認証を行う' and fields for 'ユーザ名' and 'パスワード'; 'Popサーバ設定' with a checkbox 'POP before SMTPを行う', fields for 'サーバアドレス', 'ポート番号' (set to 110), 'ユーザ名', and 'パスワード'; and 'Eメール送信内容' with fields for 'From', 'To', 'Cc', 'Bcc', and '件名'. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' buttons.

図 Eメール送信設定画面

各コントロールの詳細は以下の通りです。

適用範囲	コントロール表示	詳細
Eメール送信設定	Eメール送信を行う	インシデント発生など、メイン画面に表示されるログ情報を、Eメールでの通知を行うか設定します。
SMTPサーバ設定	サーバアドレス	SMTPサーバのホスト名、または、IPアドレスを設定します。
	ポート番号	ポート番号を設定します。
	SSL/TLSを使用する	接続を暗号化するために SSL (Secure Sockets Layer) を使用するか設定します。
Auth認証	Auth認証を行う	ユーザ認証を使用するか設定します。
	ユーザ名	ユーザ認証に用いるユーザ名を設定します。

	パスワード	ユーザ認証に用いるパスワードを設定します。
Popサーバ設定	POP before SMTPを行う	SMTP通信前に、Popサーバとのユーザ認証を行うか設定します。
	サーバアドレス	Popサーバのホスト名、または、IPアドレスを設定します。
	ポート番号	ポート番号を設定します。
	ユーザ名	ユーザ認証に用いるユーザ名を設定します。
	パスワード	ユーザ認証に用いるパスワードを設定します。
Eメール送信内容	From	Eメールの送信元アドレスを設定します。
	To	Eメールの送信先アドレスを設定します。
	Cc	Eメールの送信先アドレス(カーボンコピー)を設定します。
	Bcc	Eメールの送信先アドレス(ブラインドカーボンコピー)を設定します。
	件名	Eメールに付ける件名を設定します。

設定の変更を行う場合は、各コントロールの値を変更後、[OK]ボタンをクリックしてください。[キャンセル]ボタンをクリックした場合には、各コントロールの値が変更されていても適用されません。

8.3.2. E メール送信設定例(Yahoo!メール)

ここでは、Yahoo! JAPAN が提供するフリーメールサービスである Yahoo!メール の設定例を以下に示します。

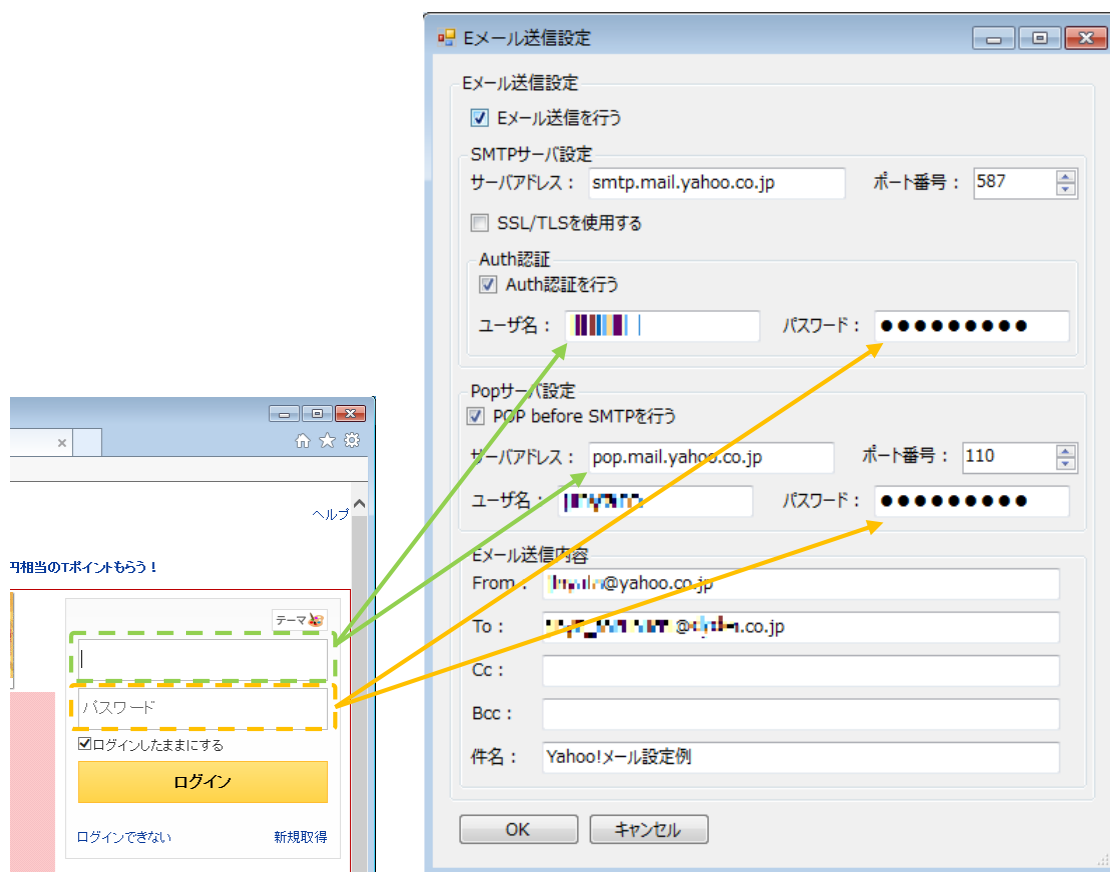


図 Yahoo!メールの E メール送信設定例

セキュリティポリシー変更などにより、設定変更が必要となる場合があります。また、事前に SMTP/POP サーバへの Ping での導通確認や、DNS サーバの確認をおすすめします。

8.4. Syslog 送信設定

Syslog 送信設定の表示／変更を行う場合には、メイン画面の[設定]メニューから、[Syslog 送信設定]タブを選択してください。

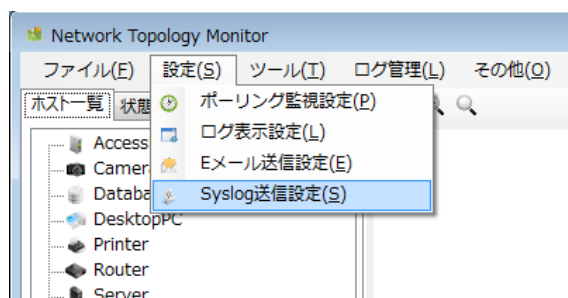


図 [Syslog 送信設定]タブ

8.4.1. Syslog 送信設定画面

Syslog 送信設定画面は、以下のような構成を持ちます。

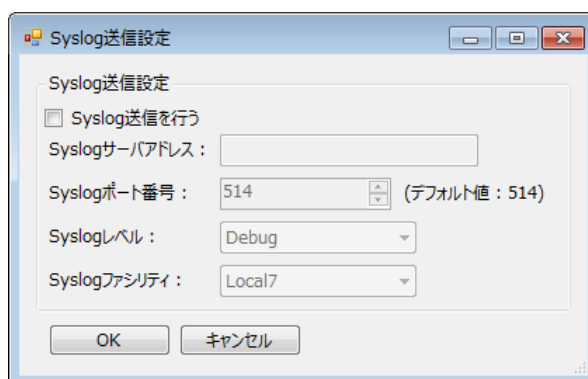


図 Syslog 送信設定画面

各コントロールの詳細は以下の通りです。

コントロール表示	詳細
Syslog送信を行う	インシデント発生など、メイン画面に表示されるログ情報を、Syslogでの通知を行うか設定します。
Syslogサーバアドレス	Syslogサーバのホスト名、または、IPアドレスを設定します。
Syslogポート番号	ポート番号を設定します。
Syslogレベル	セバリティ(重要度)レベルを設定します。
Syslogファシリティ	ファシリティを設定します。

設定の変更を行う場合は、各コントロールの値を変更後、[OK]ボタンをクリックしてください。[キャンセル]ボタンをクリックした場合には、各コントロールの値が変更されていても適用されません。

- ※ Syslog のメッセージは、全て英文で送信します。
- ※ Syslog サーバが複数のインターフェースを持つ場合に、アプリケーションの Syslog サーバアドレスを IP アドレスとして設定されたと、Syslog サーバ側での受信がうまくいかないことがあります。その場合は、Syslog サーバ側の設定をご確認いただくか、アプリケーションの Syslog サーバアドレスをホスト名で登録してください。

9. 機能

本項は、アプリケーションの各機能について、記述しています。

9.1. 自動検索

自動検索は、指定された IPv4 アドレス範囲に存在するネットワーク機器を検出する機能です。

自動検索を行う場合には、メイン画面の[ツール]メニューから、[自動検索]タブを選択してください。

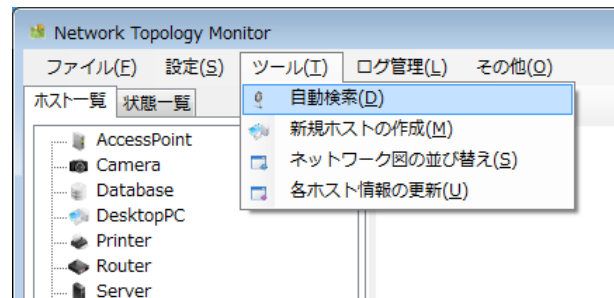


図 [自動検索]タブ

9.1.1. 自動検索画面

自動検索画面は、以下のような構成を持ちます。

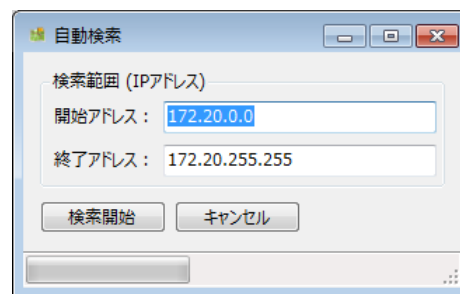


図 自動検索画面

各コントロールの詳細は以下の通りです。

コントロール表示	詳細
開始アドレス	検索するIPv4アドレス範囲の最小値を設定します。
終了アドレス	検索するIPv4アドレス範囲の最大値を設定します。

[検索開始]ボタンをクリックすると、指定された IPv4 アドレス範囲の検索を行います。検索の進捗状況は、[検索開始]ボタンの下部にあるプログレスバー、および、メッセージ表示にて示します。

※ 指定された IPv4 アドレス範囲に存在する全ネットワーク機器に対して、SNMP リクエストを行いますので、SNMP 応答待ちなどで、検索終了までに時間がかかる場合があります。

9.2. 新規ホスト作成

新規ホスト作成は、アプリケーションが保持しているネットワーク情報に、手動でホスト情報を追加する機能です。
新規ホスト作成を行う場合には、メイン画面の[ツール]メニューから、[新規ホストの作成]タブを選択してください。

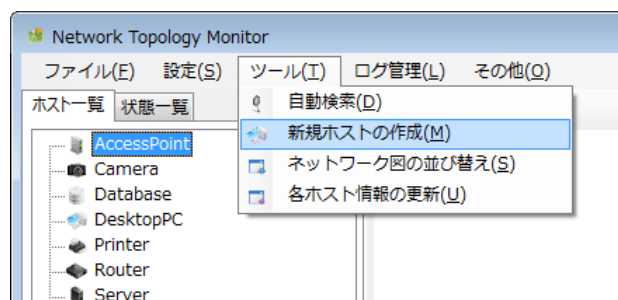


図 [新規ホストの作成]タブ

9.2.1. 新規ホスト作成画面

新規ホスト作成画面は、以下のような構成を持ちます。

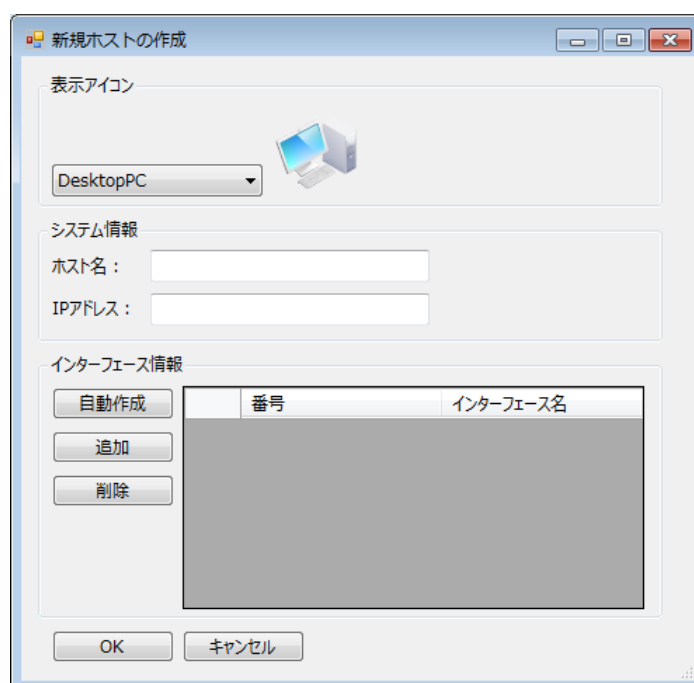


図 新規ホスト作成画面

各コントロールの詳細は以下の通りです。

コントロール表示	詳細
表示アイコン	ネットワーク図に表示するアイコンを設定します。
ホスト名	ネットワーク図に表示するホスト名を設定します。
IPアドレス	ネットワーク図に表示するIPアドレスを設定します。 (ポーリング監視にも使用します。)
自動作成	上記のIPアドレスへSNMPリクエストを行い、インターフェース一覧を生成します。
追加	インターフェース一覧に新規行を追加します。
削除	インターフェース一覧で選択されたを削除します。
インターフェース一覧	新規ホストのインターフェースを表示します。 インターフェース名は、編集可能です。

9.3. ネットワーク図の並び替え

ネットワーク図の並び替えは、ネットワーク図の表示アイコンの移動を行い、見やすくする機能です。

ネットワーク図の並び替えを行う場合には、メイン画面の[ツール]メニューから、[ネットワーク図の並び替え]タブを選択してください。

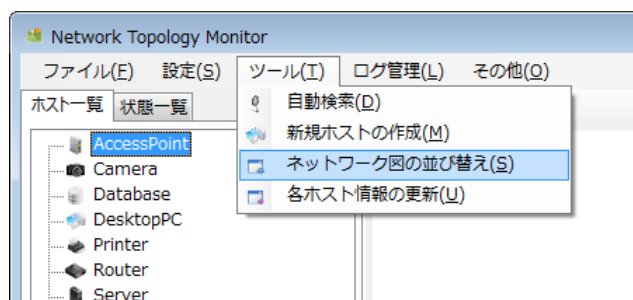


図 [ネットワーク図の並び替え]タブ

9.3.1. ネットワーク図の並び替えの実行

ネットワーク図の並び替えは、以下のように行います。

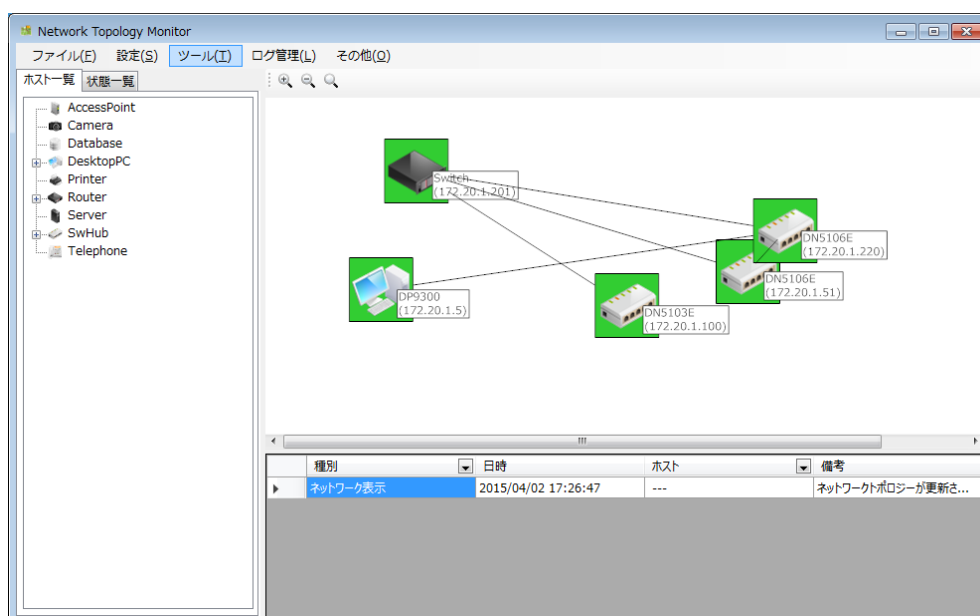


図 ネットワーク図の並び替え実行前

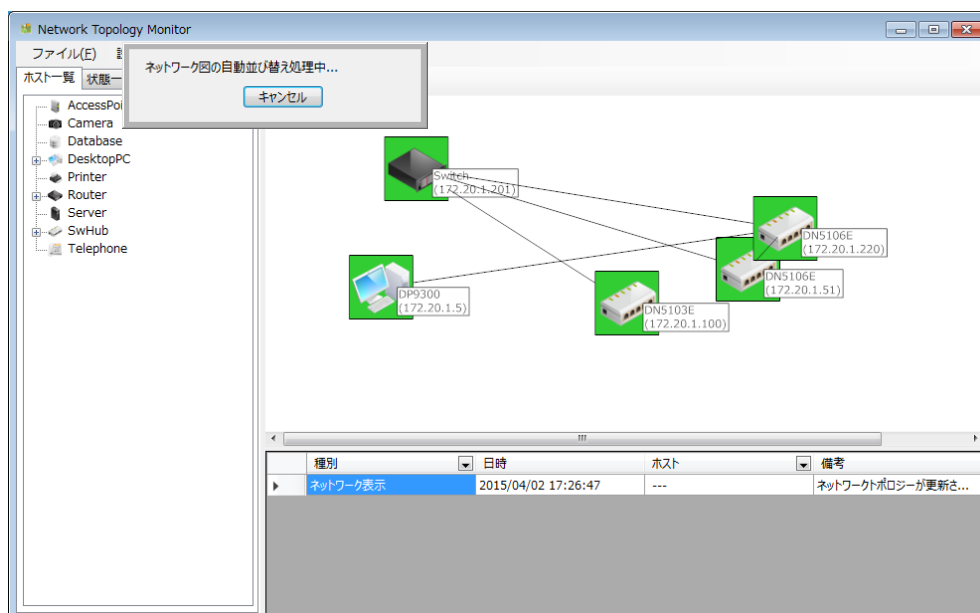


図 ネットワーク図の並び替え実行中

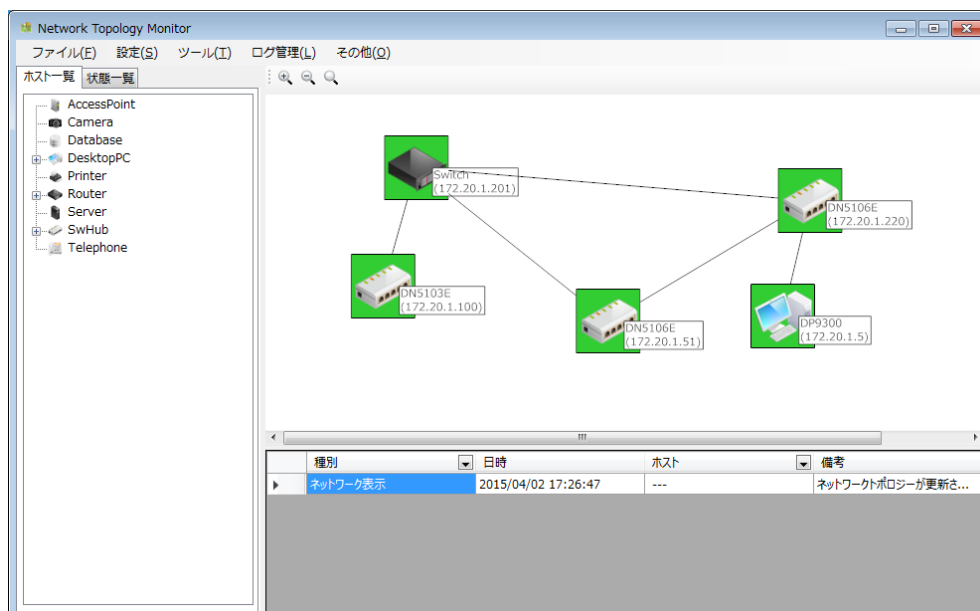


図 ネットワーク図の並び替え実行後

なお、ネットワーク図の並び替えは、実行中に表示している[キャンセル]ボタンをクリックすることで、中断することができます。

9.4. ホスト情報の更新

ホスト情報の更新は、アプリケーションが保持している各ホストの情報を再作成する機能です。

自動検索や新規ホスト作成機能の実行時に、SNMP リクエストに応答がなかったネットワーク機器に対しては、SNMP によるポーリング監視を行いませんが、その後、ネットワーク機器の設定変更などで、ネットワーク機器が SNMP に対応した場合に、この機能を使用することで、アプリケーションが保持しているホスト情報を再作成し、SNMP によるポーリング監視を行うようになります。

ホスト情報の更新を行う場合には、メイン画面の[ツール]メニューから、[各ホスト情報の更新]タブを選択してください。

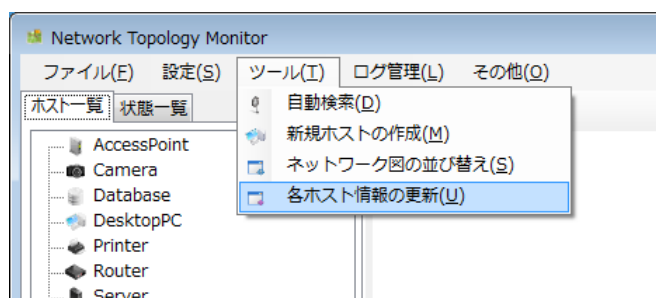


図 [各ホスト情報の更新]タブ

9.4.1. ホスト情報の更新の実行

ホスト情報の更新は、以下のように行います。

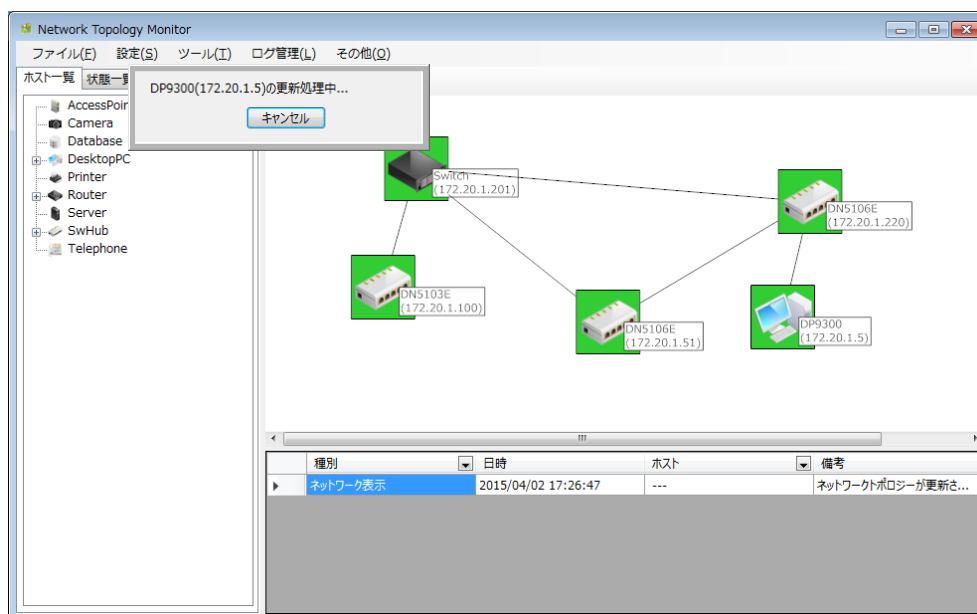


図 ホスト情報の更新実行中

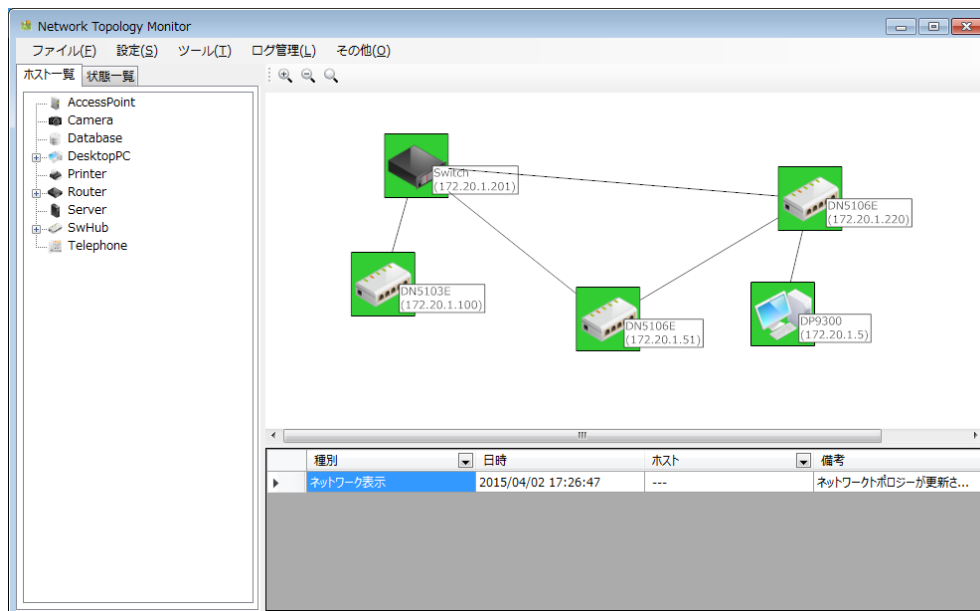


図 ホスト情報の更新実行後

なお、ホスト情報の更新は、実行中に表示している[キャンセル]ボタンをクリックすることで、中断することができます。

※ アプリケーションが保持している全ホストに対して SNMP リクエストを行いますので、SNMP 応答待ちなどで、アプリケーションの応答に時間がかかる場合があります。

10. ログ管理

本項は、アプリケーションのログ管理について、記述しています。

10.1. ログ情報の初期化

インシデント発生などを表示しているログ情報を初期化する場合には、メイン画面の[ファイル]メニューから、[ログ管理]→[ログ情報の初期化]タブを選択してください。

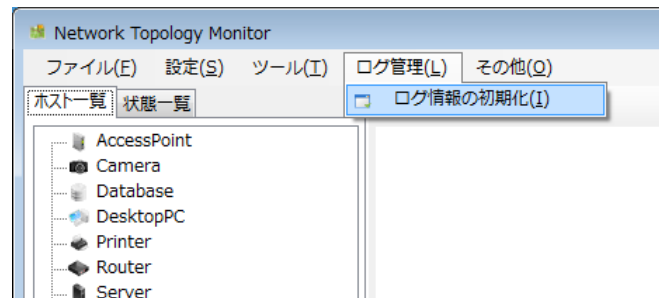


図 [ログ情報の初期化]タブ

ログ情報の初期化の実行前に、再度、確認を行う画面を表示します。[OK]ボタンをクリックすることで、ログ情報の初期化を実行します。

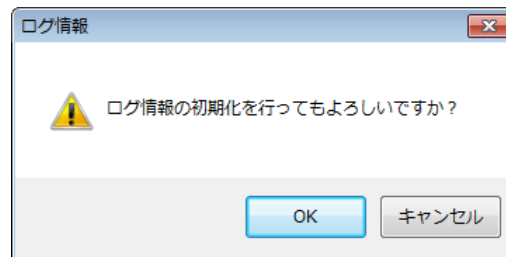


図 ログ情報の初期化確認画面

11. メイン画面

本項は、メイン画面の各表示機能について、記述します。

11.1. ネットワーク図

アプリケーションが保持しているネットワーク情報を、ネットワーク図として表示します。

ICMP (Ping) ポーリング監視に、応答しているホストは表示アイコンの背景色が緑色、応答していないホストは表示アイコンの背景色が赤色で表示します。

ネットワークトポロジーを示す接続線は黒色、および、スパンニングツリーのブロッキングポートを含む接続線は赤色、リンクダウン状態のインターフェースを含む接続線は黄色で表示します。

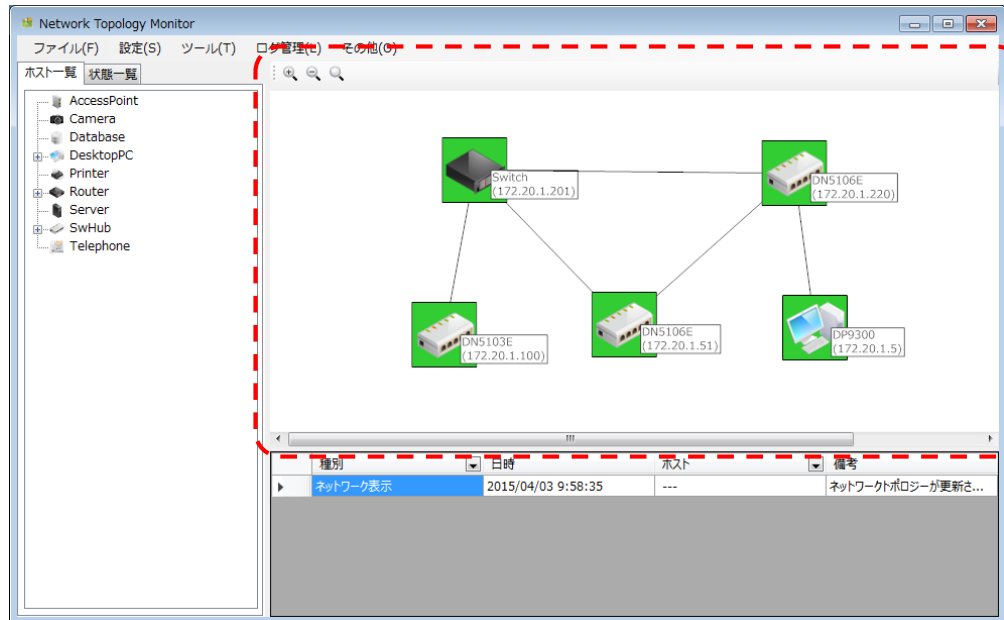


図 ネットワーク図

11.1.1. ネットワーク図の縮尺変更

メイン画面の[ZoomIn]ボタン、[ZoomOut]ボタン、[ZoomDefault]ボタンをそれぞれクリックすることで、ネットワーク図の縮尺を変更することが可能です。

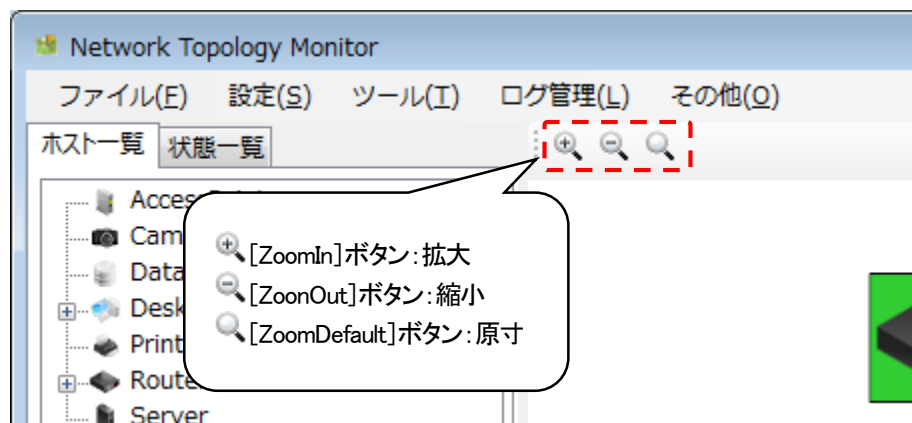


図 縮尺変更ボタン

11.1.2. 表示アイコン移動

ネットワーク図に表示している表示アイコンは、ドラッグ&ドロップで移動可能です。

また、移動中の表示アイコンは、背景色が灰色に変化します。

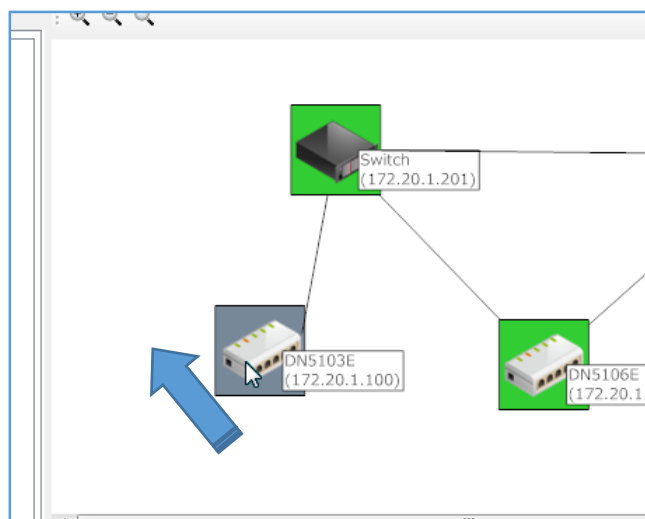


図 表示アイコン移動

11.1.3. トポロジー詳細表示

ネットワークトポロジーを示す接続線にマウスを合わせると、そのトポロジーの詳細を表示します。

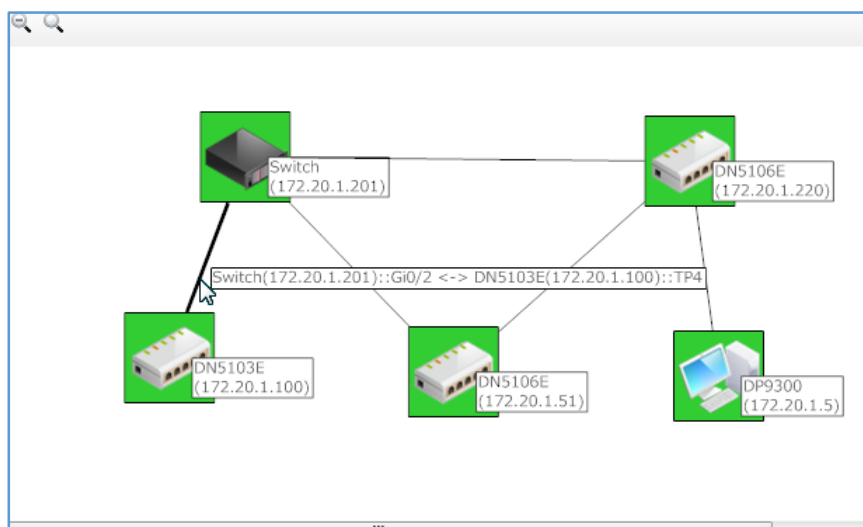


図 トポロジー詳細表示

11.1.4. ホスト詳細管理

ネットワーク図に表示している表示アイコンを右クリックすることで、詳細管理メニューを表示します。

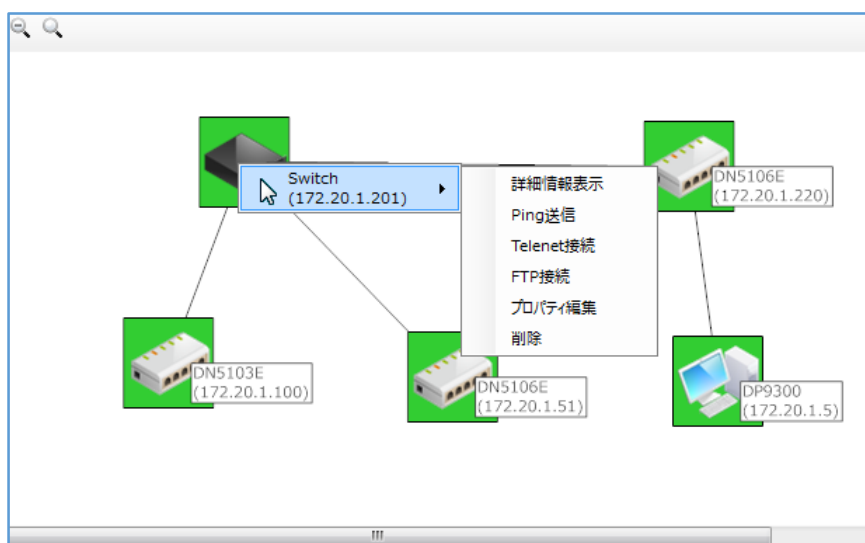


図 ホスト詳細管理メニュー

詳細管理メニューから、[詳細情報表示]タブを選択することで、ホストの詳細情報画面を表示します。
各ホストの MAC アドレスや、インターフェース状態などが確認できます。

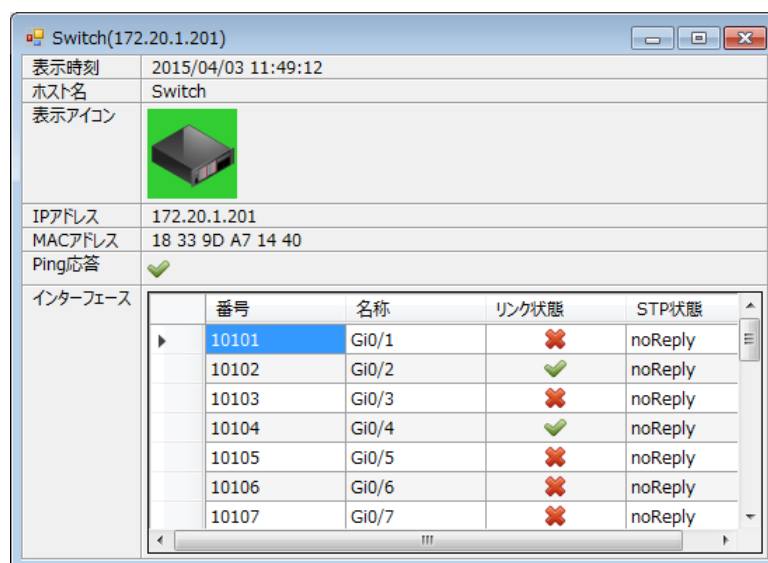


図 ホストの詳細情報画面

詳細管理メニューから、[プロパティ編集]タブを選択することで、ホストの詳細情報画面を表示します。
ネットワーク図に表示する各ホストのアイコン画像、ホスト名を編集できます。

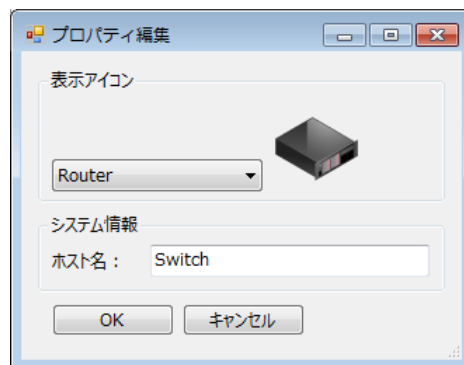


図 ホストのプロパティ編集画面

詳細管理メニューから、[削除]タブを選択することで、アプリケーションが保持しているネットワーク情報から選択されたホスト情報を削除します。

ホスト情報の削除の実行前に、再度、確認を行う画面を表示します。[OK]ボタンをクリックすることで、ホスト情報の削除を実行します。

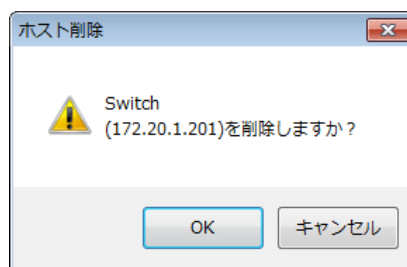


図 ホスト情報の削除確認画面

その他、[Ping 送信]タブ、[Telnet 接続]タブ、[FTP 接続]タブは、Windows にコマンドシェルとして用意してある「コマンドプロンプト」を利用して行います。

- ※ [Ping 送信]タブで実行した Ping 応答結果は、アプリケーションが保持しているネットワーク情報に反映されません。
- ※ お使いの PC によっては、Windows に Telnet クライアントをインストールする必要があります。Telnet クライアントをインストールする方法については、Microsoft 社のウェブサイトをご参照ください。

11.2. ホスト／状態一覧ツリー

アプリケーションが保持しているネットワーク情報を、一覧ツリーとして表示します。

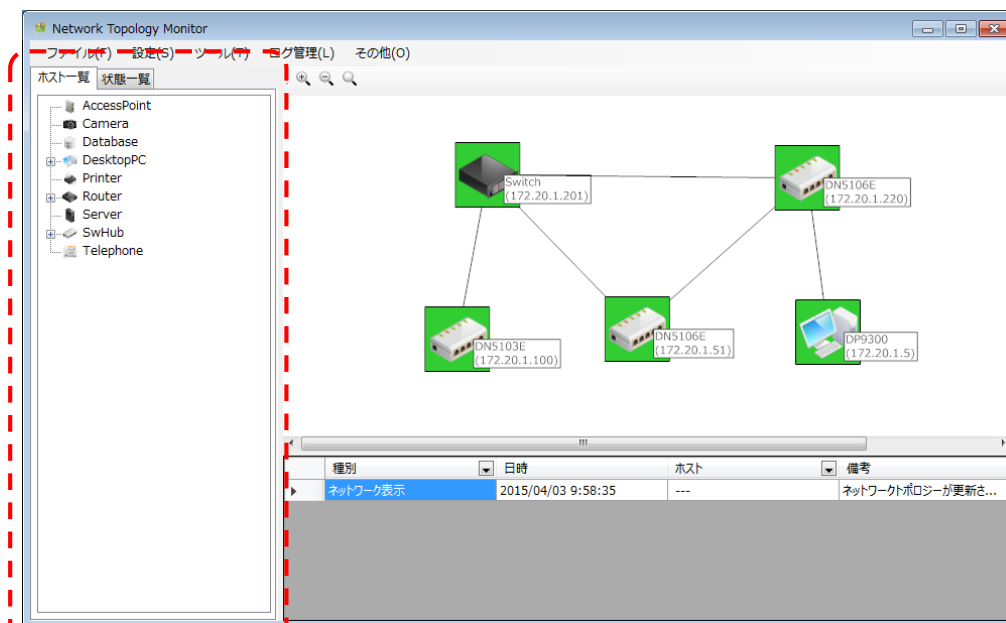


図 一覧ツリー

11.2.1. ホスト一覧ツリーの表示

メイン画面の[ホスト一覧]タブを選択することで表示します。

表示アイコンに使用している画像をインデックスにし、各ホストの ICMP (Ping) 応答状況、および、インターフェースのリンク状態をツリー状に配置しています。

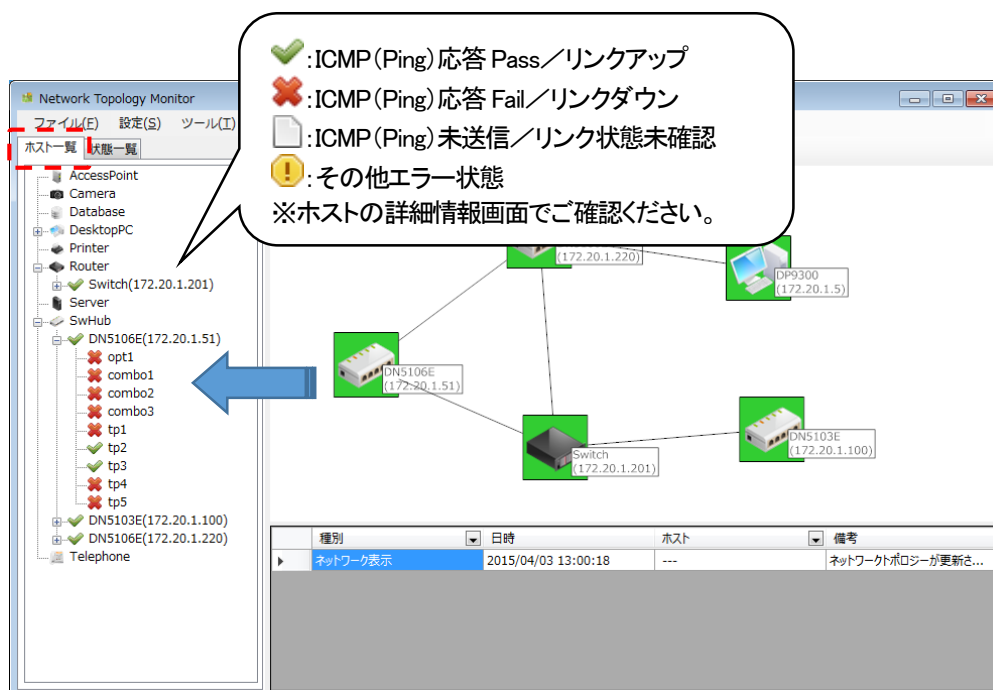


図 ホスト一覧ツリーの表示

11.2.2. 状態一覧ツリーの表示

メイン画面の[状態一覧]タブを選択することで表示します。

ICMP (Ping) 応答状況をインデックスにし、各ホストの表示アイコンに使用している画像、および、インターフェースのリンク状態をツリー状に配置しています。

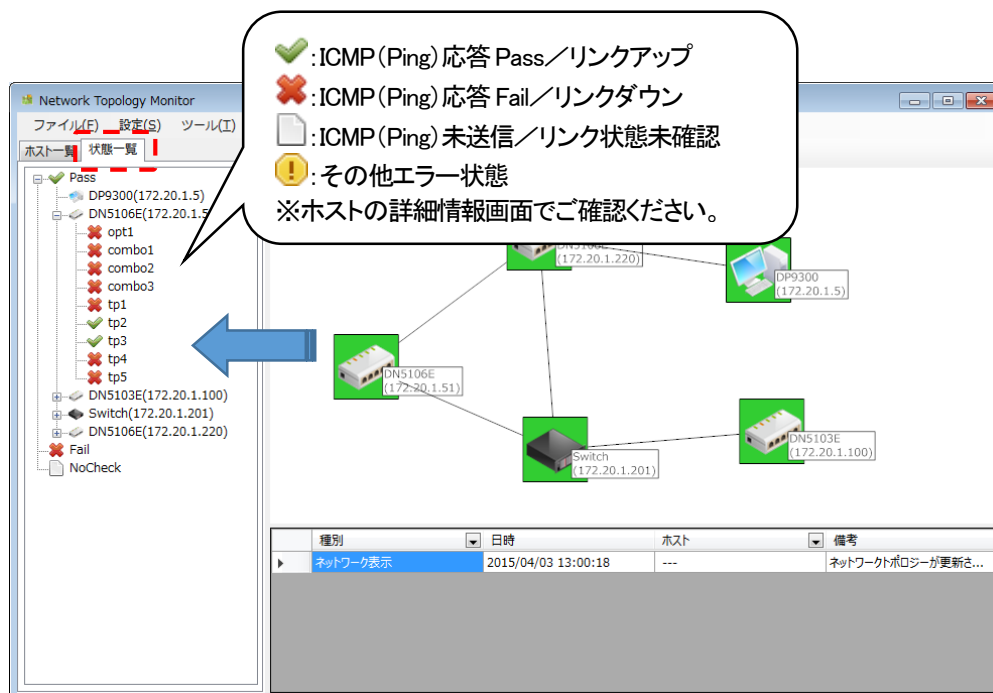


図 状態一覧ツリーの表示

11.3. ログ情報表示

インシデント発生など、アプリケーションが保持しているログ情報を、一覧として表示します。

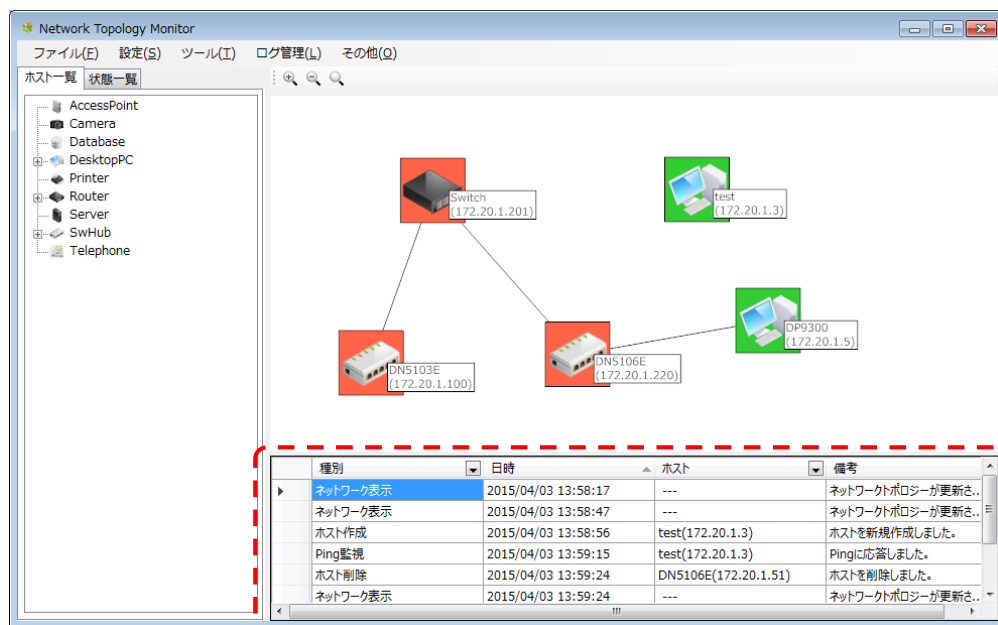


図 ログ情報

11.3.1. ログ情報表示の詳細

表示しているログ情報は、カテゴリ部をクリックすることでソートできます。

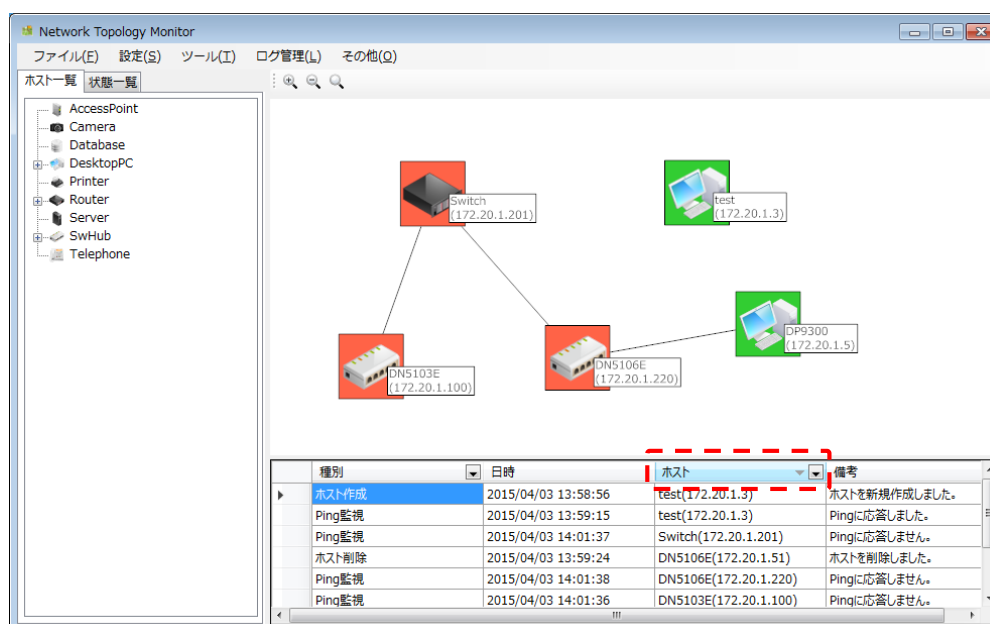


図 ログ情報表示([ホスト]カテゴリのソート)

また、[種別]、および、[ホスト]カテゴリでは、表示をフィルタすることもできます。

表示する情報を選択

種別	日時	ホスト	備考
ネットワーク (All)	2015/04/03 13:58:17	---	ネットワークポリシーが更新さ..
Ping監視	2015/04/03 13:58:47	---	ネットワークポリシーが更新さ..
ネットワーク表示	2015/04/03 13:58:56	test(172.20.1.3)	ホストを新規作成しました。
ホスト作成	2015/04/03 13:59:15	test(172.20.1.3)	Pingに応答しました。
Ping監視	2015/04/03 13:59:24	DN5106E(172.20.1.51)	ホストを削除しました。
ホスト削除	2015/04/03 13:59:24	---	ネットワークポリシーが更新さ..
ネットワーク表示	2015/04/03 13:59:24	---	ネットワークポリシーが更新さ..

表示をフィルタ

種別	日時	ホスト	備考
Ping監視	2015/04/03 13:59:15	test(172.20.1.3)	Pingに応答しました。
Ping監視	2015/04/03 14:01:36	DN5103E(172.20.1.100)	Pingに応答しません。
Ping監視	2015/04/03 14:01:37	Switch(172.20.1.201)	Pingに応答しません。
Ping監視	2015/04/03 14:01:38	DN5106E(172.20.1.220)	Pingに応答しません。

図 ログ情報表示(表示をフィルタ)

12. 問い合わせ先

〔営業窓口〕 大電株式会社 ネットワーク機器部 営業課

コールセンター(テクニカルサポート窓口)  0120-588-545 (携帯・PHS にも対応)

e-mail: commnio @dyden.co.jp

東 京: 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-9 ツインビュー御茶ノ水3階

TEL (03)5684-2100【代表】

名 古 屋: 〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜1-1-6 住友商事名古屋ビル5階

TEL (052)951-1414【代表】

大 阪: 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-7-28 住友ビルディング2号館1階

TEL (06)6229-3535【代表】

九 州: 〒849-0124 佐賀県三養基郡上峰町堤2100-19

TEL (0952)52-8546【代表】